

第25回新春初歩きご来光登山

青海島「高山」で初日の出

元旦の早朝、青海島高山オートキャンプ場から約1kmの行程で標高320mの高山山頂まで歩く恒例の「新春初歩きご来光登山」が行われ、約200人の市民が参加しました。今年も曇りがちの天候で日の出が心配されましたが、雲の隙間から太陽が現れると大きな歓声が上がり、参加者は今年一年の幸運を願っていました。

下山後、参加者は持ち寄ったお餅を入れたお雑煮を食べて新年を喜びました。



瀬戸崎鯨唄を

八坂神社に奉納

1月2日、仙崎に伝わる鯨唄の文化の伝承と後継者育成を目指す瀬戸崎組鯨唄保存会のメンバー7人が、仙崎小学校の6年生5人とともに八坂神社を訪れ、鯨唄を奉納しました。



交通安全啓発のために

交通安全旗寄贈

1月8日、(社)山口県トラック協会長門支部から長門交通安全協会に交通安全旗200枚が寄贈されました。この旗は交通安全期間中や事故の多い場所に事故防止を喚起するために掲げられます。



郷土出身の彫刻家

大井秀規展開催

郷土出身の彫刻家、大井秀規さんの作品展が1月15日よりルネッサナと文化情報ギャラリーで開催され、多くの人が訪れました。同氏の作品63点を展示したこの個展は2月15日まで開かれます。



ながと日記 ばーと43

長門市長 松林正俊



続・子ども議会

長門市子ども議会が先ほど開催されました。2回目となる今回は、市内各中学校の3年生の代表が、それぞれの地域の課題や自分たちが日頃から感じていることなどを「こんな長門市をつくりたい」という中学生の視線で活発に提案してくれました。

子どもたちは、自分たちのグループにそれぞれ政党名をつけ、福祉や環境、観光業や農林水産業の振興などについて、パソコンやプロジェクトを使って具体的な例を挙げながら私に質問を投げかけてくれました。

「視聴覚党」からは、視聴覚障害者のための公的施設での電光掲示板の設置やほっちやテレビの番組に字幕をつけること、点字教育の普及活動や音声信号機の設置増加などについての提案がありました。また、「福祉党」と「バリアフリーを考える会」からはお年寄りの生きがい対策と公共施設や道路のバリアフリー化について、「水の会」は河川や海辺のゴミ処理やポイ捨て防止などについて具体的に指摘してくれました。

「仙崎観光党」と「仙崎保護党」は、公共トイレの整備やみずぎ通りの火災防災対策について、「LIVELY通党」からは坂道に手

すりを付けバス停にベンチを設置することや、水産業の振興や稚魚の放流についての要望など、それぞれの地域における課題を示してくれました。

「長門自然観光プレゼン党」と「故郷を思う会」は、地産地消の推進やグリーンツーリズムと温泉の連携について、またJR美祿線の活性化についてなど、渋木地区や俵山地区からみた農業振興や観光をアピールしてくれました。

この子ども議会の様子は、ほっちやテレビで生放送され、市内全中学校の3年生が教室でテレビ中継を観ながら、お互いの考え方や地域の課題を知り合う授業も行わ

れました。市民の方も、わかりやすくハキハキと地域のテーマを発表する生徒の姿に将来への安堵と期待を抱かれたはずです。

きっと、この子どもたちが近い将来長門市を担ってくれる、と確信をもった今回の子ども議会でした。

